

家庭基礎

履 修 単 位	単位	学 年	2 年
学 科 コ ー ス	商業科	区 分	必修 ・ 選択
使 用 教 科 書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）		
副 教 材 等	家基礎合学習ノート（東京書籍） 学習プリント		

1. 科目を通した学習内容と学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

- ・教科書・ファイルなど忘れ物をしない。
- ・自分の考えや意見を述べられるように努力し、他人の意見を柔軟に受け入れ、新たな気づきにつなげ、自分の考えを振り返るようにする。
- ・学習の振り返りをしっかりし、見通しを持って学習に取り組めるようにする。
- ・学んだことを家庭や地域社会で活かせるようにする。
- ・実習中はケガをしないように十分安全面に注意して行動する。
- ・提出物の期限は必ず守る。

3. 科目を通した評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。
評 価 方 法	・ 単元テスト ・ 小テスト ・ 学習ノートやプリントの記述内容 ・ 実習作品 など	・ 単元テスト ・ 学習ノートやプリントの記述内容 ・ 授業発表内容やプレゼンテーション内容 など	・ 授業や実習への取り組み ・ 振り返りシートの内容 ・ グループワークの取り組み状況 など

上に示す観点に基づいて，学習のまとまり（単元）ごとに評価し，学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4. 年間を通した学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1 学期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・生活に生かそう ・各章末「ホームプロジェクト」	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	(知識・技能) ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 (思考・判断・表現) 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	
	第7章 衣生活をつくる 1被服の役割を考える	・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。	(知識・技能) ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。	○	○		
	2被服を入手する	・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。	・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・衣生活の自立に必要な技能を身につけている。	○		○	
	3被服を管理する	・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。	(思考・判断・表現) 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装などについて問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に課題を解決する力を身につけている。	○			
	4衣生活の文化と知恵	・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。	(主体的に取り組む態度) 課題解決に主体的に取り組み、家庭や地域生活の向上のために実践しようとしている。＊全体を通した評価基準	○	○	○	
	5これからの衣生活	・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。 ・全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。		○	○	○	
	第2章 人生をつくる 1 人生をつくる	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	(知識・技能) 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。	○			
	2 家族・家庭を見つめる	・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。	(思考・判断・表現) 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に課題を解決する力を身につけている。	○	○	○	
	3 これからの家庭生活と社会	・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。		○	○		
	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。		○			
	2 子どもの育つ力を知る	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	(知識・技能) ・乳幼児の心身の発達と生活、子どもの遊びと文化などについて理解を深め、子どもと適切に関わる技能を身につけている。	○			
	3 子どもと関わる	・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。	・子どもを取り巻く社会環境の変化や課題及び子どもの福祉について理解を深めている。	○	○		
	4 子どもとの触れ合いから学ぶ	・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。	(思考・判断・表現) 子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切な関わり方について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に課題を解決する力を身につけている。	○	○	○	
	5 これからの保育環境	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。		○	○		

2 学 期	第9章 経済生活を営む 1情報の収集・比較と意思決定	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	(知識・技能) ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク仮の考え方について理解を深め、情報の収集・整理ができる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者問題について理解するとともに契約の重要性になどについて理解を深めている。 (思考・判断・表現) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に課題を解決する力を身につけている。	○			
	2購入・支払いのルールと方法	・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。		○			
	3消費者の権利と責任	・消費者には権利と責任があることを理解する。		○	○		○
	4生涯の経済生活を見通す	・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。		○	○		
	5これからの経済生活	・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。		○	○		
	第10章 持続可能な生活を営む 1持続可能な社会を目指して	・持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて理解する。	(知識・技能) 生活と環境の関わりや持続可能な消費について理解している。 (思考・判断・表現) 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に課題を解決する力を身につけている。	○			○
	第6章 食生活をつくる 1食生活の課題について考える	・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。		○	○		
	2 食事と栄養・食品	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。		○			
	3 食品の選択と安全	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。		○			
	4 生涯の健康を見通した食事計画	・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。		○	○		○
	5 調理の基礎	・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。		○			
	6食生活の文化と知恵	・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。		○	○		
	7これからの食生活	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。		○	○		

3 学 期	第8章 住生活をつくる 1住生活の変遷と住居の機能	・住生活を取り巻く課題など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，住生活の特徴について科学的に理解している。	(知識・技能) ・住生活を取り巻く課題など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，住生活の特徴について科学的に理解している。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。 ・住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。 ・快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。	○	○		
	2安全で快適な住生活の計画	・ライフステージの特徴や課題に着目し，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。 ・住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。 ・快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。	・日本と世界の住文化など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・住生活を取り巻く課題など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。 (思考・判断・表現) ・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	
	3住生活の文化と知恵	・日本と世界の住文化など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。	・主体的に住生活を営むことができるよう環境に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・主体的に住生活を営むことができるよう日本の住文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主体的に取り組む態度) ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○		
	4これからの住生活	・住生活を取り巻く課題など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。		○	○		
	第4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来	・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには，家族や地域によるどのような支援が必要か，考える。	(知識・技能) ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 ・高齢期の心身の特徴について理解を深めている。 ・高齢者福祉について理解を深めている。 ・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深めている。	○	○		
	2 高齢期の心身の特徴	・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。	(思考・判断・表現) ・高齢者の自立生活を支えるために，高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・高齢者の自立生活を支えるために，高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○		○	

	3これらの超高齢社会	・これらの超高齢社会の課題を理解する。 ・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。	いる。 （主体的に取り組む態度） ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとする とともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○		
	第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	（知識・技能） ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・家庭と地域との関わりについて理解している。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めている。	○	○		
	2 社会保障の考え方	・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	（思考・判断・表現） ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○		○	
	3社会保障の考え方	・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。	（主体的に取り組む態度） ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとする とともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○		